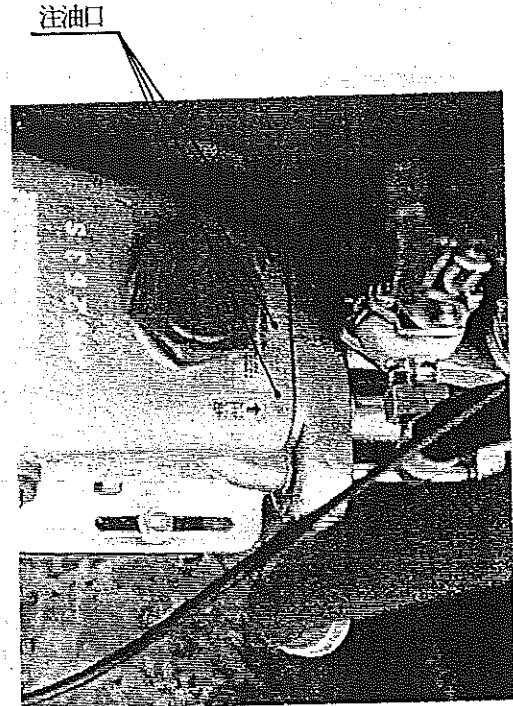


19 点検要領

重要 ● 走行クラッチ、旋回レバー、駐車ブレーキ駆動用ローラーチェーンは、運転上重要な部品です。点検のみにとどめ、異常を感じた時は、自分では調整せず、調整は、販売店のサービス担当者に依頼してください。

■動力噴霧機

- クランクケースへの注油、クランクケース内にオイルが定量入っているかオイルゲージで確かめ、不足している場合は補充します。
- クランクケースのシリンダ取付け部にある3個の注油口に油差しでモービル油（2～3時間毎）を3～5滴注油します。
- 調圧弁カム部分、その他摩耗部にも注油します。



使用時間	モービル油の種類	交換時間	容 量
春～夏	SAE # 40	初回50時間	0.6ℓ
秋～冬	SAE # 30	以後100時間毎	

■エンジン

エンジンについてはエンジン取扱説明書を参照し、特に下記事項に注意します。

●潤滑油

使用前には必ずクランクケース内にオイルが定量入っているかオイルゲージで確かめ不足している場合は補充します。

使用オイルは、モービル油を下表に従って使用します。

オイル交換は、初回20時間、2回目以後は50時間使用ごとに交換します。

交換の時は、エンジンが暖まっている間に行います。

使用時間	モービル油の種類	交換時間	容 量
春～夏	SAE # 30	初回20時間	EY18-3B 0.6ℓ
秋～冬	SAE # 20	以後50時間毎	EY20D 0.6ℓ
四季を通じて	SAE # 10W-30		

●燃料

重要 ●タンクのカソリン給油口には、燃料コシ器が装着してありますから、燃料給油時には必ず使用します。
燃料コシ器は汚れやすいので、ときどきぬるま湯の中で、ブラシに石鹼を付け内外をよく洗い乾燥させてから再び使用します。

●トランスミッションオイル

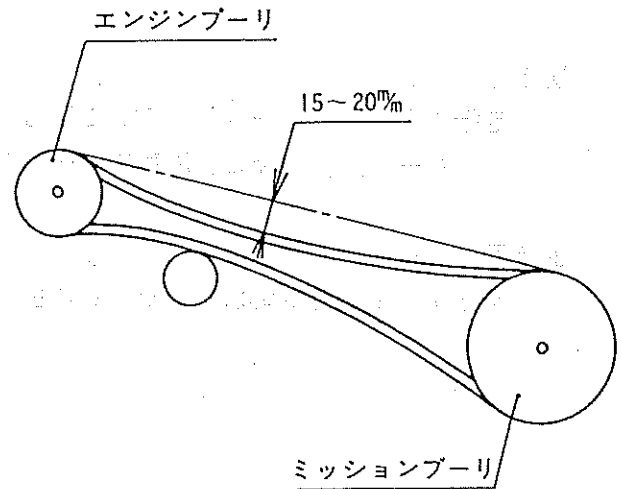
オイル漏れ等がないか始業時必ず点検します。オイル交換は、注油口及びドレンプラグをはずし、オイルを抜きます。注油口より、ギヤオイルSAE#90を1ℓ入れます。
(初回100時間、以後1000時間毎に交換します。)

■摺動部

エンジンオイルを使用し、テンション軸受部、ワイヤー部、レバー軸受部等に注油します。注油は、25時間毎に行います。

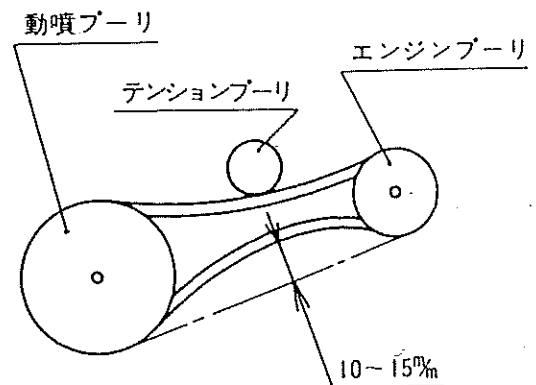
■走行用Vベルト

走行用Vベルトの張りは、クラッチ「入」の時、Vベルト張り側(上方)の中間を10kgの力で押してたわみが15~20mmが適正値です。



■動噴用Vベルト

動噴用Vベルトの張りは、クラッチ「入」の時、Vベルト張り側(下方)の中間を10kgの力で押してたわみが15~20mmが適正値です。



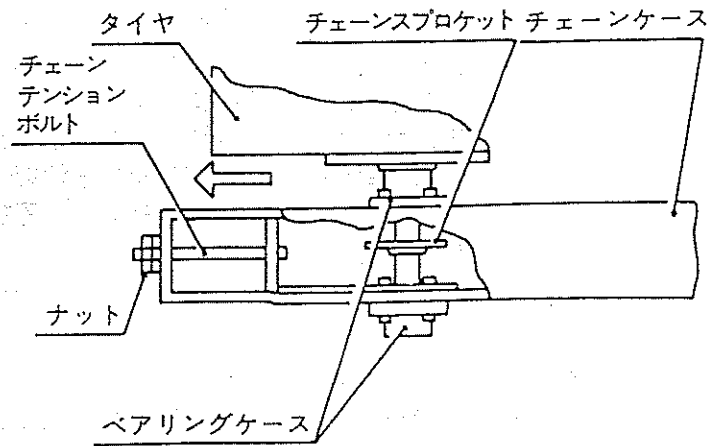
■車輪駆動ローラチェーン

チェーンの張りは、チェーンケースカバーをはずして、ドライバ等を差し込んで、たるみを確認します。上下に各々約5mmが適正値です。

チェーンケース上部のカバーをはずし、ギヤオイルSAE#90を注油します。

注油は、初回50時間以後100時間毎

重要 ● 注油の際は、必ずチェーンのたるみを確認してください。



■駐車ブレーキ

平坦な場所で駐車ブレーキレバーを「入」にして、変速レバーを「N」(ニュートラル)位置にし、タイヤが回転しないことを確認します。

次にレバーを「切」にし、タイヤが軽く回転することを確認します。

■タイヤ

亀裂、摩耗、空気圧をチェックします。前後輪共標準空気圧 1.5 kgf/cm² (0.147MPa)

■走行クラッチ

走行クラッチレバー「入」の時に動力が、確実につながることを確認します。

又、レバー「入」の時に、駐車ブレーキワイヤーは、たるんでいることを確認します。

■旋回レバー

半分引いて動力が切れ、いっばいに引いた時タイヤがロック状態になるか確認します。